

第27回新中間処理施設整備検討会議（開催概要）

1 開催日時 令和3年1月29日（金）14時30分～15時30分

2 開催場所 くりりんセンター2階研修室

3 出席者

（1）構成員

帯広市、音更町、士幌町、上士幌町、鹿追町、新得町、清水町、芽室町、中札内村、更別村、大樹町、幕別町、池田町、豊頃町、本別町、足寄町、陸別町、浦幌町

（2）オブザーバー

北海道十勝総合振興局

（3）事務局

くりりんセンター

1. 開会

（事務局長）

本日は、お忙しいところご出席いただき、ありがとうございます。ただいまから、第27回新中間処理施設整備検討会議を開催いたします。

議事進行については、本日も事務局長の長江が務めさせていただきます。

2. 議事

（事務局長）

それでは、議事に入ります。

（1）住民説明会の開催概要について及び（2）パブリックコメントの実施概要について、事務局より一括して説明いたします。

（事務局）

（1）住民説明会の開催概要について及び（2）パブリックコメントの実施概要についてをご説明いたします。

まず、資料1の新中間処理施設整備基本構想（原案）住民説明会の開催概要をご覧ください。

住民説明会は、昨年12月7日から12月20日まで、管内10カ所で開催し、参加者は合計177名となっています。各会場の参加者数の内訳については、記載のとおりとなっています。

ご発言の意見等の要旨について、基本構想の内容に関するものは、各章ごとに順に記載しています。その他として、説明会やパブリックコメントなどに関するご意見も記載しています。

多く寄せられたご意見としては、第1章では、「昨年度の意見は基本構想に反映されているのか」「施設を分散させるべき」など基本構想策定や広域化に関わるご意見、第2章では、「ごみの減量化の取り組みにより、焼却する処理量を減らすべき」などごみ処理の基本条件や推計方法に関わるご意見、第3章では、「ごみを燃やさない処理方法にすべき」などごみ処理方式の選定や分別、リニューアル方式などに関わるご意見、第4章では、「ごみの資源化によって環境に配慮した

処理を検討すべき」などの資源化やエネルギー利用などのご意見、第5章では、「浸水深が深いところを建設候補地にするべきではない」など浸水想定に関するものや、「パークゴルフ場に建設すべき」など建設候補地に関わるご意見、第6章では、ダイオキシン類の排ガス基準などの環境自主基準に関わるご意見、第7章では、概算事業費290億円の積算に関するご意見や、防災計画、市町村負担、住民負担についてなどのご意見、その他では、「コロナ感染が広がる中、なぜ住民説明会を延期しなかったのか」、「パブリックコメントの受付期限を延期してほしい」などのご意見をいただきました。

続いて、資料2のパブリックコメント意見募集の結果公表をご覧ください。

昨年12月7日から今年1月6日までの期間、新中間処理施設整備基本構想（原案）のパブリックコメントを実施いたしましたので、その結果について概要をご説明いたします。

ご意見の総件数は120件、意見提出者数は20人となっています。

意見の内容については各章ごとにとりまとめ、意見に対する組合の考え方の案を、資料の右側に記載しています。

各章の主な意見、組合の考え方についてですが、第1章では、「焼却施設は1箇所ではなく、分散して建設すべきである」といった施設の分散など広域化に関する意見をいただいております。組合の考え方としては、国や道の広域化に対する考え方のほか、共同処理を行うことが効果的、経済的であることを記載しています。

2ページ目をご覧ください。

第2章では、災害廃棄物の推計方法や処理に関する意見や、ごみ排出量や施設規模に関する意見をいただいております。組合の考え方として、大規模な災害が発生した場合などの対応方法、ごみ排出量の推計や施設規模の算定方法について記載しています。

3ページ目をご覧ください。

第3章では、まず、「地球温暖化、気候変動等が問題となっているなか、ごみの焼却処理は温室効果ガスの削減に反する」などといった環境問題に関する意見をいただいております。組合の考え方として、脱炭素社会の実現のためには、国や地方公共団体、事業者、住民など、社会全体で取り組まなければならないものと認識していることから、基本構想（原案）の14～15頁に記載のとおり、今後も管内19市町村と連携し、ごみの減量化、資源化に取り組むほか、新中間処理施設において、資源化率の向上や環境教育の充実のほか、処理に伴い生じる熱を効率的に回収することにより、エネルギーの有効活用を図り、CO₂の削減や地球温暖化の防止に努めることを記載しています。

続いて、「ごみを資源とし、焼却処理しない方法を検討すべき」といった処理方法に関する意見をいただいております。組合の考え方として、安全で安定したごみ処理の考え方を基本に、近年の処理方式の導入状況、住民の分別負担などを踏まえ、共同処理としては焼却による処理が最適と判断して選定したこと、基本構想（原案）11頁のフロー図や14頁に記載しているとおり、十勝の地域特性を活かした資源化をそれぞれの構成市町村が行うとともに、構成市町村との連携強化や情報共有を図りながら、ごみの減量化、資源化に取り組むことを記載しています。

4ページ目をご覧ください。

第4章では、新中間処理施設での資源化率向上の取り組み、環境教育、エネルギー回収などについての意見をいただいております。組合の考え方として、基本構想（原案）記載のとおり、新中間処理施設においては資源化率の向上や環境教育の充実に取り組むほか、「ごみゼロ検討委員会」の構成を19市町村に拡大し、構成市町村の連携強化や情報共有を図りながら、ごみの減量化、資

源化に取り組むこと、処理に伴い生じる熱を効率的に回収することにより、エネルギーの有効活用を図ることなどを記載しています。

5 ページ目をご覧ください。

第5章では、まず、盛土などの浸水対策に関する意見をいただいております、組合の考え方として、基本構想（原案）21頁に記載のとおり、国の指針等に基づく浸水対策を講じるなど、さらに検討を進め、災害に強い施設とすることを記載しております。

続いて、「候補地Cは、水没5m以上の危険な場所なので建設候補地として不適である。」などの意見をいただいております、組合の考え方として、基本構想（原案）記載のとおり、建設候補地については、敷地面積などのほか、浸水想定・浸水継続時間・家屋倒壊等氾濫想定区域の状況等を調査・検討し、選定したものであると記載しております。

6 ページ目をご覧ください。

3段目になりますが、「現在のパークゴルフ場である候補地Aと現在地をあわせたものが、建設候補地として最適である」などの意見をいただいております、組合の考え方として、基本構想（原案）20頁及び参考資料5に記載のとおり、候補地A及び既存施設は、家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食）を含んでおり、また河岸侵食区域を除く敷地形状は南北方向が狭く東西に細長いことから、施設整備は難しいことなどを記載しています。

また、帯広市以外から建設候補地を探すべきなどといった意見をいただいております、組合の考え方として、基本構想（原案）において記している旨を記載しています。

7 ページ目をご覧ください。

第7章では、概算事業費の妥当性や詳細、交付金制度などについて意見をいただいております、組合の考え方として、概算事業費については、プラントメーカーに対するアンケートの結果を踏まえ試算したもので、それぞれの事業者が適切に算定しているものであり、他の施設の実績などからも妥当なものであること。交付金の活用にあたっては、国のマニュアルに沿って対応していくことなどを記載しています。

8 ページ目をご覧ください。

第8章では、事業方式についてのご意見について、その他としては、8ページから9ページにかけては住民説明会やパブリックコメントなどに関する意見や組合の考え方について記載しています。

最後に、11ページ目に記載のとおり、上記以外の意見として11件のご意見をいただいております。

ご意見の取り扱いとしましては、案を修正するものを区分1、既に案に盛り込んでいるものを区分2、今後の参考とするものを区分3、意見として伺ったものを区分4、それ以外の意見として扱ったものを区分5として分類しています。集計の結果としては、区分2が4件、区分3が1件、区分4が104件、区分5が11件となっています。

今回のパブリックコメントの結果を踏まえ、基本構想（原案）を修正しないで基本構想（案）とし、2月9日開催予定の副市町村長会議において報告及び協議のうえ、2月22日開催予定の組合議会議員協議会において報告する予定です。

結果公表資料及び成案となった基本構想につきましては、2月22日（火）以降に当組合のホームページでの公表を予定しております。あわせて住民説明会の開催概要も公表します。

また、参考として、今回の基本構想（原案）について、広く公表する観点から、説明会と同じ

PPT 資料を用いてナレーションを入れてムービーにしてホームページに公表しており、パブリックコメント受付期間の12月7日から1月6日までの閲覧件数は342件なっています。

加えてホームページから基本構想（原案）本編のダウンロード件数は254件、概要版のダウンロード件数は272件となっています。

説明は以上です。

（事務局長）

単純な比較はできませんが、昨年度のパブリックコメントは96人から262件のご意見をいただきました。

それでは、ただいまご説明しました説明会の開催概要及びパブリックコメントの実施概要について、ご意見を伺います。

（幕別町）

今後の流れを確認したいのですが、まず、基本計画を発注されると思いますが、その後は基本設計、実施設計を発注するという流れで進んでいくのでしょうか。

（事務局）

基本計画の中で基本設計も行い、その後、実施設計を行う予定です。

（幕別町）

住民説明会でも説明していたと思いますが、施設規模の290tは、基本計画の中で見直しを行うのですか。

（事務局）

来年度、改めてごみの排出量や施設規模について算出します。特に来年度から参加する新得町、鹿追町については来年度中の実績を参考にできるので、今年度の数値より精度が高くなると考えています。

先程の質問の補足ですが、基本構想の28頁のとおり、来年度から1年半位かけて基本計画を策定します。その後、令和5年度に事業者が決定して実施設計に入っていきますが、決定した事業者が実施設計を行うこととなります。

（幕別町）

そうすると、290tの施設規模の見直しにあたっては、各市町村のごみの量も見直されるということでしょうか。

お電話でも話をしましたが、組合のごみ排出量の計算方法は、過去の実績値の最小値と減少率の平均を比較し、小さい方を採用している。

幕別町の排出量推計を減少率だけではなくトレンド推計を用いて比較したところ、家庭系はトレンド推計の方が大きく、事業系は低くなりました。ただ、事業系は最小値の方が低かったのが最終的には良かったのですが、他の市町村で同じようにトレンド推計を用いて比較すると、今回、求めたものより低い数字が出る可能性があると思います。つまり基本計画でのごみ排出量の推計にあたっては、トレンド推計と減少率、それと最小値の3つを比較して低い方を使った方が良い

と思います。

(事務局)

いただいたご意見の算出方法については、来年度委託するコンサルとも相談しながら、参考にさせていただきたいと思います。

(事務局長)

ごみの排出量の推計については、人口ビジョンの改訂が終わっている市町村もあれば、来年度改訂する市町村もあるので、それも踏まえてなるべく施設規模については過大にならないように算出したいと思います。

他に何かございませんか。

なければ、住民説明会の開催概要、パブリックコメント実施概要について質疑を終了します。

次に、(3) 新中間処理施設整備における建設費等(概算)及び分担率について、事務局より説明いたします。

(事務局)

資料3をご覧ください。

全て税抜き金額ですので、予めご承知ください。

まず、建設費ですが、1. プラントメーカーからの建設費回答から一番金額が低いA社の286億円に用地取得費及び排水等関連工事費4億円を加えた290億円が概算の建設費になります。

施設別の内訳については、2. 建設費の試算のとおりで、組合の実質負担は、3. 組合負担額試算の下段のとおり、290億円に交付金、交付税措置額を差し引いた124億円を見込んでいます。

現くりりんセンターの解体費については、29億円を見込んでいます。

次に、新中間処理施設整備に係る分担率については、資料下段、5. 新中間処理施設整備分担率の表のとおりとなっています。

説明は以上です。

(事務局長)

それでは、ただいま説明した新中間処理施設整備における建設費等(概算)及び分担率について、ご意見を伺います。

なければ、新中間処理施設整備における建設費等(概算)及び分担率についての質疑を終了します。

次に(4)「その他」に入りますが、みなさまからご報告等はございませんでしょうか。

(帯広市)

11月の検討会議以降、12月と1月に厚生委員会があり、3名の議員から新中間処理施設整備に関する質疑がありましたのでご報告します。

1人目は、C地区が相応しいのではないかというご意見で、リニューアルは難しい、浸水については対策を講じれば何とかなるが、家屋倒壊等氾濫想定区域は避けた方が良い、洪水に耐えられる立派な施設としてほしいなどのご意見をいただいております。

2人目は、説明動画についてはすごくわかりやすくて良い、調査もしっかり行われている、スケジュールどおり進めてほしいといったご意見をいただいています。

3人目は、塹型ストーカ方式について検討すべきで、スペース的に小さくて済むのではないか、組合が計画どおり進めたいというのは理解するが、一度立ち止まって考えた方が良いのではないかということを改めて検討会議の場で伝えてほしいというような発言がありました。

(事務局長)

他の町村さんは何かありませんか。

他になければ、今後のスケジュールについて、事務局よりご説明いたします。

(事務局)

今後のスケジュールについては、2月9日(火)に副市町村長会議、2月22日(月)に組合議会及び議員協議会を予定しています。本日説明した住民説明会、パブリックコメントの報告をし、特に修正の意見等なければ基本構想、予算が確定いたします。

令和3年度には、循環型社会形成推進交付金の交付申請を行い、5月に各委託調査を発注することとなります。

測量調査、地盤調査は3ヵ月程度で終了する予定ですが、基本計画策定・生活環境影響調査・PFI導入可能性調査については2ヵ年の業務となります。

基本計画策定の中で、施設規模の再検討や、見積り仕様書を作成しますので、委託業務の進捗に合わせまして、次回の検討会議を招集し皆様に説明する予定です。

現在の予定では、令和3年の秋頃に次回の検討会議となるかと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

説明は以上です。

(事務局長)

今後のスケジュールについては、よろしいでしょうか。

3. 閉会

(事務局長)

以上で本日予定しておりました案件は、すべて終了いたしました。

会議の資料及び議事につきましては、これまでの会議と併せ組合のホームページで公表してまいります。本日は、お忙しい中、ご出席いただきありがとうございました。